

秋の定期修理工事で、樹脂課のGL本体更新仕事を担当したときのことです。私にとっては初めての大型タンク更新工事で、各部署から集まった26人の作業員をまとめる役割を任されました。対象となるタンクは重量26ト。建屋内から外へ搬出し、クレーンでつり上げた後、天地を反転させるという大掛かりな作業でした。

工事を成功させるため、私は家に帰ってから図面や工程を何度も見返し、頭の中で繰り返し作業をシミュレーションしていました。「大丈夫、できる」と自分に言い聞かせながら準備を重ね、当日を迎えました。

しかし、実際に現場が始まると、想像していた以上に難しい。多くの人へ指示を出し、全体を

把握しながら的確に連絡を

エムイーシーテクノ
九州事業所
上島 祐也（福岡県）



不安を自信に変えてくれた先輩の一言

回す。その責任の重さに圧倒され、私は現場で頭が真っ白になり、動けなくなってしまいました。

そんな時、先輩のAさんが私にこう声をかけてくれました。

「何も恐れなくていい。自分が考えている施工手順を、今いるみんなにしっかり伝えればいい。そのために俺たち上司や先輩がいるんだから」

その言葉を聞いた瞬間、不思議なくらい心が軽くなりました。一人で背負い込まなくていいのだと思えたのです。その後は落ち着いて指示を出せるようになり、作業は安全第一で、予定より早く完了することができました。

私もいつか、Aさんのように「この人がいれば大丈夫」と周囲から信頼される上司、先輩になりたいと思っています。

